

優れたコントロール性を実現したステアリング&ブレーキシステム。 最適なトルク配分を実現したビスカスカップリング式4WDシステム。



あらゆるシーンで安心感の高いドライビングが楽しめるよう、コントロール性を重視してステアリングシステムとブレーキシステムを構築。4WDは、ビスカスカップリングを採用した軽量・コンパクトな新システムを開発。VSA協調制御により、後輪への最適なトルク配分を実現しました。

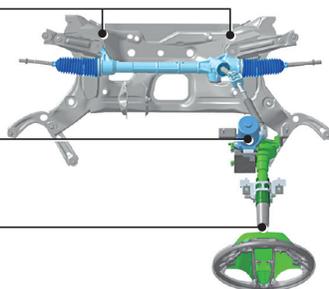
ステアリングシステム

ステアリングシステムは、転舵初期のスムーズさと、転舵速度の変化に対して操舵力変化のない安定感を追求し、制御を最適化。さらに、リジッドマウント、ステアリングコラムシャフトの大径化、エアバッグモジュールのゴム配置最適化などにより、ステアリングホイールの微振動を低減。安心感と上質感の高いステアフィールを実現しました。15X、RS、HYBRIDについては、高出力EPSモーターを採用するとともにステアリングギアレシオをクイック化し、軽快感を高めています。

●リジッドマウント
高剛性化に貢献

●EPSモーター
すっきり・スムーズなアシスト

●コラムシャフト大径化
振動を低減

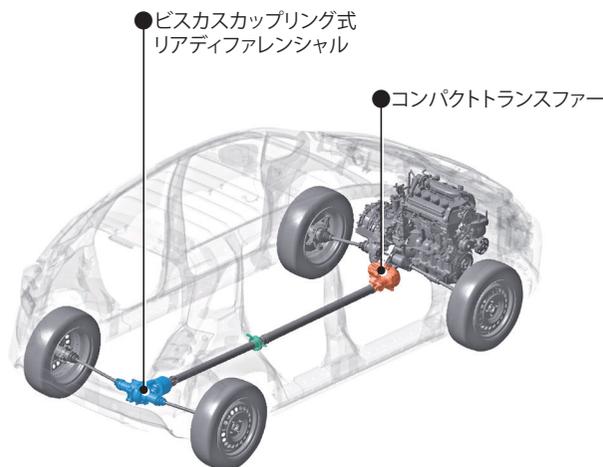


ブレーキシステム (ガソリン車)

ガソリン車のブレーキシステムは、マスターパワー特性を大幅に見直し、安心感のある効きを確保したうえで、ブレーキペダル踏力の低減を実施。低減速度から高減速度まで、コントロールしやすいブレーキシステムを構築し、あらゆるシーンにおいて軽快でリニアなブレーキフィールを実現しました。

ビスカスカップリング式4WDシステム

4WDシステムにビスカスカップリング式を採用。ハンブ(カップリング内プレートの金属接触による過剰トルク発生)状態にさせないハンブレス構造とすることで過剰トルクを抑制し、大幅な軽量化とコンパクト化を達成。従来システムに対し、7kgの軽量化と80mmの全長短縮を実現しています。



クラス初^{※1}となる4WD車をラインアップ予定^{※2}。

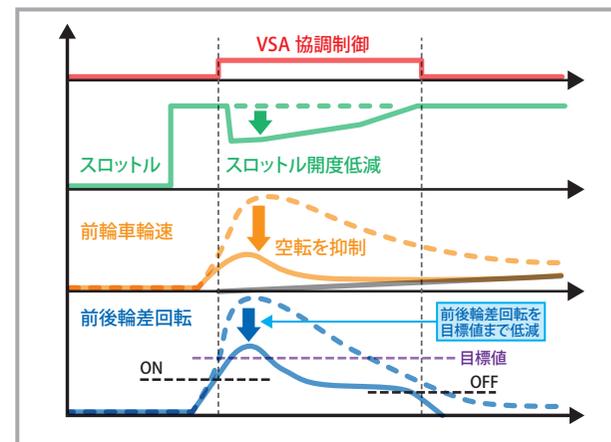
クラス初^{※1}のハイブリッドシステム搭載の4WD車^{※2}を開発。優れた低燃費と4WDならではの力強さを両立しました。コンパクト設計にすることで、フィットならではの広さもそのままに。

※1 1.5Lクラスのハイブリッドカーとして。 ※2 2013年12月発表予定。

●VSA協調制御

雪上坂道発進など極めて滑りやすい状況において、VSA協調制御によりスロットル開度を低減し、前輪の空転を抑制。前後輪の回転差を最適に制御することで、ビスカスカップリングの特長である優れた初期応答性を維持しつつ、後輪への最適なトルク配分を実現しています。

■VSA協調制御イメージ図



●CVT車の4WD化

新開発CVTのプーリー側圧制御を高精度化することで、急激なトルク伝達においても信頼性を確保しCVT車の4WD化を実現しました。